

平成26年度 新潟市北区文化会館 事業報告書

事業	実施日	会場	料金	入場者数	内容
<鑑賞事業> 映画 「奇跡のリンゴ」	5月31日 (土曜)	北 区 文 化 会 館	一般300円 小中学生100円	532人	ビュー福島潟主催によるトークイベントの補助事業としての映画鑑賞会。翌6月1日には映画のモデルとなったリンゴ農家・木村秋則氏とビュー福島潟名誉館長・加藤登紀子氏の対談が行われた。 会館の自主事業としての映画上映は初めてだったが、料金の安さと近隣に映画館がないなどの事情からチケットは完売した。 繊細で取り扱いが難しいフィルムでの上映のため前半部分で線が出たりしたが、フィルムならではの温かみを感じられてよかったと好評だった。
<鑑賞事業> 子どもステージ1 「オズの魔法使い」	6月22日 (日曜)		全席指定 一般2,000円 小学生以下 1,000円 親子ペア券 2,800円	457人	「オズの魔法使い」は、舞台や映画、ミュージカルなど様々な形で表現されてきた名作である。上演した人形劇団ブークは歴史も実力もある集団であり、本作品は100年以上親しまれてきた知名度の高い作品のため、チケットの売れ行きも好調だった。 子どもだけでなく、大人も十分楽しめるステージだった。
<鑑賞事業> 柄本 明ひとり芝居 「風のセールスマン」	6月29日 (日曜)		全席指定 一般3,500円 中学生以下 1,000円	379人	現代演劇では一流の劇作家、別役実氏の作品を北区の舞台で見ることができるという機会はあまりなく、また、出演の柄本明氏は、テレビ・映画でも活躍されている知名度の高い俳優であるため、観客動員数は予定より少し多くなった。 客席の近さと柄本氏の存在感により、ひとり芝居ながら満足度の高い公演となった。 終演後の友の会会員との茶話会も好評だった。
<鑑賞事業> 世良正則ソロ・アコースティックライブ O-kiraku Live2014	7月26日 (土曜)		全席指定 一般5,000円	454人	アコースティックギター1本の舞台ということで多少不安があったが、世良氏のエネルギッシュな演奏と歌は客席を大いに盛り上げた。 時間とお金をかけて遠方に出かけなくても、TVなどでも活躍する実力のある歌手の舞台を鑑賞できる機会を提供できたこともとても有意義だった。
<鑑賞事業> 五十嵐尚子×長川慶 ジョイントコンサートwithアンサンブル・モーイ	8月3日 (日曜)		全席指定 一般2,500円 中学生以下 1,500円	374人	五十嵐氏は北区在住ながらも海外オーケストラとのコラボや東京でもコンサートを開くなど活動範囲の広いソプラノ歌手。長川氏はソロ活動のほかにオペラのグループに所属するテノール歌手。ともに北区音楽文化の普及に多大な貢献をされている。 演奏は五十嵐氏の紹介で、東京を中心に活動しているアンサンブル・モーイに依頼し、熟練した技術に裏打ちされた歌をじっくり聴いてもらうことができた。2人の人柄が感じられる素晴らしいコンサートだった。
<鑑賞事業> 子どもステージ2 「だいたいの空」	9月7日 (日曜)		全席指定 一般2,000円 4歳～中学生 1,000円 親子ペア券 2,800円	172人	ステージ1は対象年齢を保育園・低学年としたので、ステージ2は高学年・中学生を対象とした。歌の場面は少なかったが、北区少年少女合唱団がプロの俳優たちと交流したり、合唱とは違った舞台を体験してもらったいい機会となった。 新作であったためなかなか集客につながらなかったが、鑑賞した観客からは、メッセージ性が高く内容もすばらしい質の高い作品との評価をいただいた。
<鑑賞事業> 愚安亭遊佐ひとり芝居 「人生一発勝負」	9月20日 (土曜)		全席自由 2,000円	84人	愚安亭遊佐氏は一人芝居を35年続けてこられ、「人生一発勝負」も公演回数は数えきれない。マスコミで活躍する俳優ではないため知名度は高くはないと思われたが、長年様々なテーマで一人芝居をされているため知る人も多く、客席はほぼ満席であった。

事業	実施日	会場	料金	入場者数	内容
<鑑賞事業> ザ・ニューズペーパー	10月5日 (日曜)	北区文化会館	全席指定 3,500円	382人	ザ・ニューズペーパーは政治・芸能・スポーツとその時々 に起きた『ニュース』を題材にしたコントで社会風刺をする ユニークな集団。 公演に先駆けてネタ探しに2人のメンバーが来県し、そ の際に創られた地元ネタが観客に大いに受けていた。 友の会との記念撮影後にも出演者がロビーに出て観客 を沸かせ、明るい笑い声が反響していた。
<鑑賞事業> N響メンバーによる プラスアンサンブル	10月26 日 (日曜)		全席指定 一般3,000円 高学生以下 1,000円	207人	NHK交響楽団という日本でもトップレベルの演奏を低料 金で聞く機会を提供できた。 演奏内容はさすがの感動すべき内容で、躍動感あふれ る演奏が繰り広げられた。
<鑑賞事業> 第5回 北区新春落語まつり	3月22日 (日曜)		全席指定 一般3,300円	557人	平成22年の開館から続いてきた春風亭昇太氏とゲスト の二人会、あるいは新作落語の仲間たちの会の総決算。 今回の出演は、春風亭昇太氏と三遊亭好楽氏の2人。2 人とも著名な落語家のためチケットの売れ行きは良く、早 い時期にチケットは完売した。文化会館での落語会は寄 席とは一味違った雰囲気で行われるが、北区文化会館の 目玉となりつつある事業である。
<創造事業> 第2回 北区うたの祭典	12月21 日 (日曜)		全席自由 一般1,500円 中学生以下 1,000円	479人	第2回となる今回は、合唱団としての参加ではなく広く個 人への呼びかけを行い、少年少女17名を含む総数78名の 『うたの祭典合唱団』を結成。伴奏はアンサンブル・モーイ に依頼した。 公演内容は二部構成で、一部は五十嵐尚子氏と長川慶 氏のソロと合唱団、モーイの演奏。第二部は全員でミュ ージカル「サウンドオブミュージック」の中から6曲を歌った。 年齢層も多岐にわたり、華やかで充実した祭典となった。
<創造事業> 再演 北区オリジナル ミュージカル 「春のホタル」	2月21日 (土曜) 2月22日 (日曜)		全席自由 一般1,000円 中学生以下 500円	3回公 演延 べ 1,351 人	平成24年11月に大好評だったオリジナルミュージカルの 再演。初演時には「北区フィルハーモニー管弦楽団」が設 立され、終演後には「北区少年少女合唱団」が作られた。 開演日1か月を切ったところで両日ともチケットが完売。 急遽21日の午前中に公開舞台稽古を行うことにした。稽 古の回数は限られていたが、アマチュア集団のミュージカ ルとは思えないほどの成果を上げることができた。文化会 館が市民の文化活動の拠点となるように今後も支援を 行っていきたい。
<交流・発信事業> 北区音楽祭 2014	11月9日 (日曜)		無料	1,209 人	参加団体25。キッズダンス、バレエ、音楽に関係する団 体など幅広い区民が参加する北区音楽祭。午前のダンス の部は多くの子どもたちが出演し、客席は家族や友人た ちでとてもにぎわっていた。午後の音楽の部はゆったりと した雰囲気ホール内に美しい歌声や楽器の音色が響 き、最後には出演者と観客全員で「花は咲く」を合唱した。 参加者の協力も運営に大きく寄与している。実行委員 会、公民館との協力体制を今後も強化し、発表の場の提 供や地域の文化活動の支援を行ってきたい。
<交流・発信事業> 北区フィルハーモ ニー管弦楽団 「第4回ファミリーコ ンサート」	12月7日 (日曜)		全席自由 一般1,000円 中学生以下 500円	492人	北区フィルハーモニー管弦楽団は地域に根付いた団体 となったようで、毎年このコンサートも集客がある程度見 込めるようになってきた。 今回は2月に上演する「春のホタル」のメインキャスト2人 が司会をし、若々しく明るく演奏会を盛り上げてくれた。ク ラシックコンサートにも関わらず明るくアットホーム的な雰 囲気が漂っていた。
<普及・育成事業> 私もピアニスト！	4月25日 から2月 13日まで 計15日		無料	延べ 177人	広いホールを貸切でフルコンサートピアノを自由に弾い てもらい、ステージの広さやホールならではの音響の良さ を体験してもらった。北区内や近郊の方以外にも、西区や 南区、田上町などの遠方からの参加者も増えている。 満員になる利用日も増えてきている。

事業	実施日	会場	料金	入場者数	内容
＜普及・育成事業＞ アウトリーチ ヴァイオリンとマリンバ	5月15日 (木曜)	岡方第一小学校	児童・職員・保護者 参加費100円	108人	ヴァイオリンの佐々木氏、マリンバの倉澤氏は亀田、北区出身で2009年ユニット「おとかぜ」を結成。クラシックのほかにラテン音楽や映画音楽など観客と一緒に楽しめる演奏を目指して活動中の2人。 普段見慣れた楽器ではあるが、生で聞く演奏に子どもたちは目を輝かせていた。ヴァイオリンの音の出る仕組みやマリンバ聞こえ方の違いなど子どもたちの好奇心をくすぐる説明を取り入れたプログラムを実施した。
		新屋敷まつはま園	施設関係者 地域住民 参加費100円	83人	施設利用者と地域住民の方あわせて83人が参加。車いすやベッドに寝たきりの方も多かったが、施設スタッフが手際よく誘導し、会場はあふれるくらいの参加者となった。 体験コーナーでは演奏にあわせて「ふるさと」を合唱。生の演奏で歌う体験はあまりないので、とても楽しんでもらった。
	5月16日 (金曜)	北区文化会館	地域住民 参加費100円	84人	通常は会館から出張した形で行っているアウトリーチを、会館のスタジオで実施した。「お、とかぜ」2人のデュエットやソロ演奏のほかに、ヴァイオリンの音の出る仕組み、マリンバの構造説明や演奏法の紹介などを行った。 天候は最悪だったが、終演後には2人を小さいころから知っているご近所さんなども現れ、アットホームな雰囲気満ちていた。
＜普及・育成事業＞ アウトリーチ バンドネオンとギター	6月5日 (木曜)	岡方コミュニティセンター	地域住民 参加費100円	50人	バンドネオンの北村氏、ギターのレオナルド氏によるアウトリーチ。 バンドネオンはタンゴのダンスを演奏する楽器という認識が強いが、いわゆる古楽器といわれ、世界的にはあまり需要はなく新しく作られることはほとんどないとのこと。演奏の合間にこうした裏話で参加者の興味をひき、会場は大いに盛り上がった。
	6月6日 (金曜)	越岡保育園	園関係者及び 地域住民 参加費100円	80人	バンドネオンとギターのデュエット、ソロ演奏や楽器の音の出る仕組みなどを園児たちにやさしく解説した。 バンドネオンを分解すると、園児たちの目は大きく見開き、食い入るように見つめていた。ただ聴くだけの経験よりも音楽への関心が強まったと思われる。
		青い鳥保育園	園関係者及び 地域住民 参加費100円	166人	会場の遊戯室が建物の中心にあり、すべての通路がつながっていたため、園児たちは何が始まるのか興味津々。 会場はアットホームな心地よい雰囲気、終演後に園児たちがステージに駆け寄り楽器に直接触れることができうれしそうだった。
＜普及・育成事業＞ アウトリーチ 邦楽	9月11日 (木曜)	南浜小学校	児童・保護者 参加費100円	45人	オーケストラとの合奏など世界的に活躍中の坂田氏(尺八)と木村氏(箏)によるアウトリーチ。 5・6年生を対象に行った。子どもたちが並んでいる体験用楽器を見てそわそわして気になっている様子うかがえた。 プログラムは「邦楽」をもっと身近に親しんでほしいと考えられたもので、子どもたちが知っているメロディが多い選曲となった。参加者全員が尺八・箏どちらも体験できた有意義な時間となった。
	9月12日 (金曜)	葛塚東小学校	児童・保護者 地域住民 参加費100円	108人	5年生全員と保護者の方が参加。通常教室の倍くらいの広さのプレイルームで実施した。ステージ部分と子どもたちとの距離が近く、迫力のある演奏に熱心に耳を傾けていた。 参加者全員が交代で2種類の楽器を体験することができ、鑑賞と体験の両面から邦楽に触れることができた。 校長先生が尺八経験者で、楽々と音が出た瞬間、児童たちから歓声が上がっていた。

事業	実施日	会場	料金	入場者数	内容
＜普及・育成事業＞ アウトリーチ 邦楽	9月12日 （金曜）	介護老人保健施設 江風苑	利用者 施設関係者	60人	年配者が多く、尺八を持ったりすることは難しいと判断し、演奏体験の代わりに参加者が演奏に合わせて一緒に歌って参加するプログラムに変更した。会場は「春の海」などに真剣に聞き入る姿や、坂田さんのトークを笑顔で楽しむ人、気持ちよく歌う人など、様々な楽しみ方で音楽を楽しんでいた。
＜普及・育成事業＞ 新国立劇場バレエ団 ダンサーによるワークショップ	10月4日 （土曜）	北区文化会館	新潟市在住の小学生 受講費 500円	15人	文化庁の「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ」事業を活用し、県内の文化施設が連携して県内全域で舞踊芸術の普及育成を図ることを目的とした事業。 対象は小学生のみで、参加者のほとんどがバレエ体験者だった。新国立劇場バレエ団所属の現役バレリーナである講師に直接指導してもらうなど、子どもたちにはめったにない貴重な体験だった。
＜普及・育成事業＞ 北区少年少女合唱団	4月20日 から3月1 日まで月 1～3回、 日曜の 午前中	北区文化会館	北区内に住む、歌うことが好きな小学1年～中学2年生	317人	発足から2年がたち、現在18名で活動中。演劇公演「だいたいの空」では昭和の子ども役として遊び歌やダンスに初挑戦し、「第2回うたの祭典」ではマイナーコード速いテンポの楽曲を披露し、成長がみられた。